

【 議事要旨 】

会議名	鎌倉地域の消防施設の整備について	作成者	消防総務課
-----	------------------	-----	-------

開催日時	令和 7 年 11 月 29 日(土曜日) 10 時 00 分から 11 時 30 分
開催場所	鎌倉青少年会館 大研修室
参加者	大蔵自治会 15 名 □消防本部 ・次長兼消防総務課長 中嶋、消防総務課 総務担当 担当係長 大澤 □総務部 ・公的不動産活用課 担当課長 上林、課長補佐 西村 □環境影響調査委託業者 ・株式会社ウエスコ 平、渡邊
内容	<p>【議事要旨】</p> <p>□消防総務課の進行により開始した。</p> <p>1 開会の挨拶【次長兼消防総務課長 中嶋】</p> <p>鎌倉地域の新しい消防施設の計画を進めるにあたり、地域住民が不安に思う消防庁舎の近隣における騒音について調査を行った。調査結果の報告と、設計業務委託業者が決定したことをお知らせすることを目的としている。</p> <p>2 職員紹介</p> <p>職員や委託業者が自己紹介を行った。</p> <p>3 議事進行【消防総務課総務担当担当係長 大澤】</p> <p>別添資料に基づき、説明を行い環境影響調査の結果は、株式会社ウエスコにより説明を行った。</p> <p>(1) 事業計画、目的について</p> <p>(2) これまでの経過</p> <p>(3) 騒音調査結果の説明 【株式会社ウエスコ 説明】</p> <p>(4) 騒音予測結果の説明 【株式会社ウエスコ 説明】</p> <p>(5) 設計業者の決定</p> <p>(6) 今後のスケジュール</p> <p>(7) 質疑応答</p> <p>【主な質問と回答】</p> <p>1 騒音調査の結果について</p> <p>(1)質問：騒音調査結果の昼間と夜間の時間帯を教えてください。</p> <p>回答：環境省の騒音基準に則り昼間は 6～22 時、夜間は 22～6 時で区分し、調査を実施しました。【株式会社ウエスコ】</p>

- (2)質問：夜間の騒音はもっと小さくなるような結果になる気がするがそうならないのはなぜか。
- 回答：調査地点が道路沿道に位置し、交通量も多かったため、夜間の交通騒音の影響が大きく表れた結果となっています。【株式会社ウエスコ】
- (3)質問：移転先では静音シャッターを採用するということであったが、現在ある消防署では使用していないのか。
- 回答：築年数が経過している消防庁舎が多く静音タイプは導入しておりません。また、シャッターの修繕はしているが、全面的な取り換えは行っていないので、使用しておりません。
- (4)質問：静音シャッターにした場合は、どの程度騒音レベルが下がるのか。
- 回答：現時点ではどのシャッターを使用するかは未定ですが、検討しているものとしては、半分程度まで騒音レベルが下がるタイプのものがあります。
- (5)質問：室内の調査結果で 80dB 以上の騒音レベルが発生しているが、神奈川県の実業所の基準との比較はしているのか。
- 回答：今回は緊急車両の走行音を対象としているため、工場等の施設騒音の基準との比較は難しいと考えます。【株式会社ウエスコ】
- (6)質問：120dB 以上の騒音は難聴レベルではないか。
- 回答：調査結果では道路沿道で 100dB 以上を観測しています。一般的に建物の防音性能は窓を開けている状態で 15dB、窓を占めている状態で 20dB といわれており、救急車が走行した際に道路沿道で 106dB の騒音が発生した場合、屋内では 90dB 程度の騒音となることが予想されます。【株式会社ウエスコ】
- (7)質問：環境基準を踏まえて騒音調査の結果についてどう思うか。
- 回答：今回の調査結果は騒音レベルの最大値（Lmax）であり、環境基準は平均的な騒音レベル（等価騒音レベル）を評価指標としています。そのため、最大値が評価基準となるわけではないと考えます。【株式会社ウエスコ】
- (8)質問：騒音により眠れない等そういった問題が発生した場合、どのように対策するのか。
- 回答：現時点では検討段階であるため、具体的な対策はお伝えできないが、消防庁舎から発生する音やサイレン音などについては、最大限に配慮はさせていただきます。
- (9)質問：移転先近くの住宅に対して、防音装置を設置するとかそういった住宅側の対策は考えていないのか。
- 回答：これまでの消防施設でもそういった対策を行った実績がないため、住宅側への対策は難しいと考えます。
- (10)質問：移転先南側の住居に対しての環境影響が示されていないが、配慮はしてもらえるのか。運用開始後の騒音以外にも、消防庁舎からの視線、建設工事の騒音や振動についても懸念しているが、どのように考えているのか。
- 回答：今後は設計業者とのやり取りを通じて、建物の配置も考慮し、周辺環境への影響を最小限に抑えるよう進めていきます。
- (11)質問：消防施設の運用後についても、地域との交流・情報共有はし続けてもらいたいと考える。

	<p>回答：地域の皆様に頼られる存在でありたいと思っているので、継続的に交流や情報共有を行っていきたいと考えております。</p> <p>2 ハザードのリスクについて</p> <p>質問：移転先では液状化のリスクがあると思うが、その点についてのリスクは認識しているのか。</p> <p>回答：認識しています。選定にあたっては、津波浸水想定区域外であることを最優先事項としており、全てのリスクを完全に解消することは難しいため、移転先が最適であると判断しています。</p> <p>3 情報共有について</p> <p>(1)質問：以前の住民説明会で提案した、住民と消防を結びつける道具としてのチャット利用についての検討は行ったか。</p> <p>回答：検討の結果、導入はできないという判断となりました。消防総務課のメールアドレスを公開しているので、そこへ連絡をいただくという対応をさせていただきます。</p> <p>(2)質問：こういった説明会の案内について、回覧板だけでは情報を得られない場合もあるので、個別ポスティングは今後も続けてもらいたい。</p> <p>(8月の説明会についての案内がされなかった)</p> <p>回答：今後も続けていきます。</p>
今後対応	<p>設計業務を進める中で、設計プランが確定する前に地域住民の意向を聴取する機会を設け、行政のみで決定するのではなく、住民に頼られる消防庁舎の設計を目指していきます。</p>